

○瓦葺師

やまもと まさのり
山本 政典氏

昭和19年2月1日生（71歳）

[略歴]

同人は、昭和36年生駒市立生駒北中学校を卒業し、その後叔父の東卯之助氏に師事して、瓦葺職人としての道を歩み始めた。昭和41年には山本清一氏（選定保存技術「屋根瓦葺（本瓦葺）」保持者、平成6年選定）に師事して寺社建築の瓦葺技法の習得を目指し、同年11月に山本瓦工業株式会社に入社した。その後、多くの文化財建造物の保存修理事業に従事し、技術の習得、研鑽に努めている。

同人は入社以降、国宝東大寺鐘楼（奈良県、以下同じ）、国宝東大寺法華堂、国宝東大寺金堂（大仏殿）、国宝唐招提寺金堂など、国宝・重要文化財の保存修理事業における屋根瓦葺工事に継続的に従事してきており、現在でも現役の職人として活動を続けている。また薬師寺金堂・講堂や平城宮跡朱雀門・大極殿正殿等においては、文化財修理で得た瓦葺手法をもとに正統な古代瓦葺技術の復原を試みている。

このほか、所属する日本伝統瓦技術保存会（選定保存技術「屋根瓦葺（本瓦葺）」保存団体）の主催する技術研修会においては自らの技術の向上を目指すとともに指導的役割を担い、若手技能者の育成に尽力している。

このように、同人が瓦葺師として文化財建造物の保存・継承に果たしてきた功績は誠に顕著である。